
個人と組織の成長を紡ぎだす ～組織への介入・連携の在り方を探る～

目 次

日本産業カウンセリング学会 会長・大会委員長挨拶	2
会場への交通案内	3
会場案内図	4
フロア案内図	5
大会参加者へのご案内	7
個人研究・事例発表、司会進行に関するご案内	8
期間中(2日間)のスケジュール	9

大会主要プログラム

8月26日(土)

研修会	11
基調講演	14
大会企画シンポジウム	15
懇親会	17

8月27日(日)

個人研究・事例発表	18
ラウンドテーブル・ディスカッションⅠ	21
ラウンドテーブル・ディスカッションⅡ	23

第22回大会後援団体機関名・広告賛助団体芳名	26
------------------------	----

第 22 回大会の開催にあたって

一般社団法人日本産業カウンセリング学会 会長 小澤 康司
(立正大学)

本学会は一般社団法人設立1年を迎え、第1回定時社員総会を6月3日(土)に開催しました。社団設立時の役員任期は1年となっており、第2期役員体制がスタートしました。新体制では、時代の変化への対応として、新たにキャリアコンサルタント研究推進委員会、コラボレーション委員会を設置いたしました。キャリアコンサルタント研究推進委員会では、国家資格として今後発展が期待されるキャリアコンサルタントの研究推進を図り学会として社会貢献を目指してゆきます。コラボレーション委員会は、学会としての国際交流や諸団体との連携を促進してゆきます。第22回大会のポスト・セッションとして、米国よりキム・アズナー博士、ジュリア・チャンプ博士を招聘し、9月18日(月)大阪会場、24日(日)東京会場にて、「産業カウンセリングにおける紛争マネジメント」を開催いたします。また、従来の委員会組織に部会を設置し多くの方々に活動に参加していただく体制としました。学会が会員のみならず、多くの人々や組織・機関の研究や実践活動のプラットフォームとして機能できればと願っています。本会として長年わたり取り組んできました統合的SVシステムとSVor養成についても更なる発展を目指してゆきます。

本大会テーマの「個人と組織の成長を紡ぎだす」はVUCA(Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性)の時代において、20世紀とは異なる新たなパラダイムで考えなおす重要なテーマといえます。日本は少子高齢化や産業構造の変化においても欧米よりも先進する状況になります。欧米とは異なる日本社会・文化においてどのような介入や連携ができるのか、大会での討議が楽しみです。是非大会にご参加くださいますようお願いいたします。

第22回大会委員長 古田 克利
(関西外国語大学)

第22回大会プログラムをお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年の第21回大会(於:立正大学)では、個人や組織がどのように意味や価値を創造し、その変化に対応していくのかについて活発な議論が交わされました。

「組織への介入をどのように実践していくか。それが今後の課題ではないでしょうか。」

これは、昨年の大会シンポジウムの中で、宮城まり子先生が会員に向けて発せられたメッセージです。確かに、本学会における産業カウンセリングの定義では、「(略)学術研究と現場実践に基づき、個人・集団はもとより組織に対して提供され、それらの成長・発達と共生関係の実現、ひいては幸福かつ持続可能な社会の創造に寄与する専門的過程」(松本桂樹他「産業カウンセリングの定義」『産業カウンセリング研究』第18巻,2016年)の通り、個人のみならず、組織が産業カウンセリングの対象になることを明示しています。一方で、社会の不確実性の高まりや、価値観の多様化が進む中、組織に対する支援の在り方が、ますます難しくなっているように思われます。働く人の背後に在る組織の論理や価値観を知ること、そして、それらに働きかける術を知ることが、産業カウンセリングの現場において、今まさに求められているのではないのでしょうか。

そこで本大会では、個人と組織の双方の成長を紡ぎ出すために私たちができること、とくに組織への介入・連携の在り方について検討したいと思います。基調講演では、北居明先生をお招きし、組織開発を中心とした組織への介入・連携の在り方についてお話を伺います。続く大会シンポジウムでは、セルフ・キャリアドック視点、ストレスチェック視点、そして法的視点から、組織介入・連携のあり方を検討します。この他、研修会、ラウンドテーブル等、魅力的な企画を準備しています。ぜひご興味のあるプログラムに参加頂き、知見を深めて頂ければと思います。

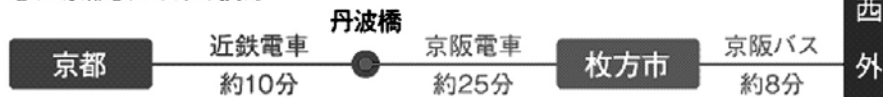
会場への交通案内

■ JR「新大阪」「大阪」から



■ JR・近鉄「京都」から

◎JR京都駅から乗り換え



■ JR「茨木」「高槻」・阪急「茨木市」「高槻市」から

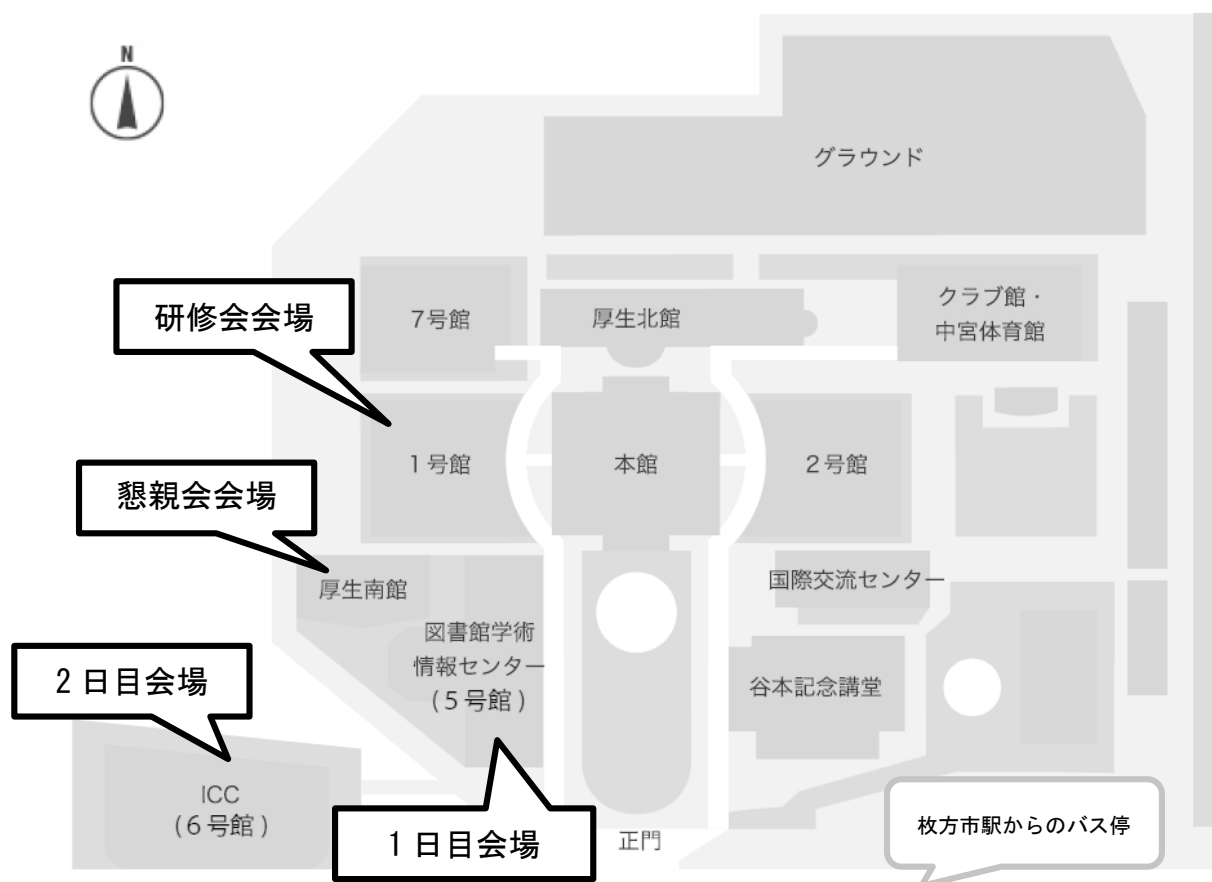


◎京阪電車「枚方市」駅からは、京阪バス「北3番、北4番」のりばより乗車

関
西
外
大



会場案内図



←枚方市駅方面

枚方市駅方面へのバス停

会場

8月26日(土)

1号館1階・2階(研修会)

マルチメディアホール 図書館学術情報センター(5号館)1階

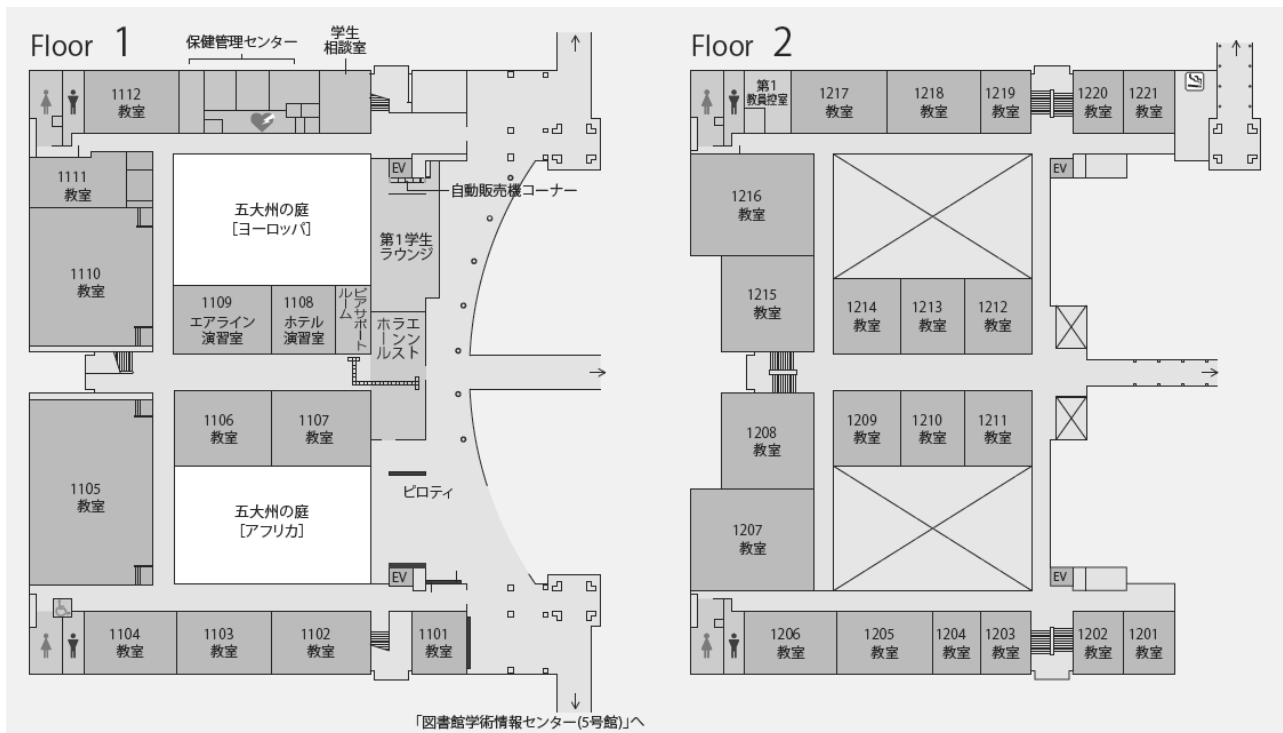
厚生南館1階 第3食堂(懇親会)

8月27日(日)

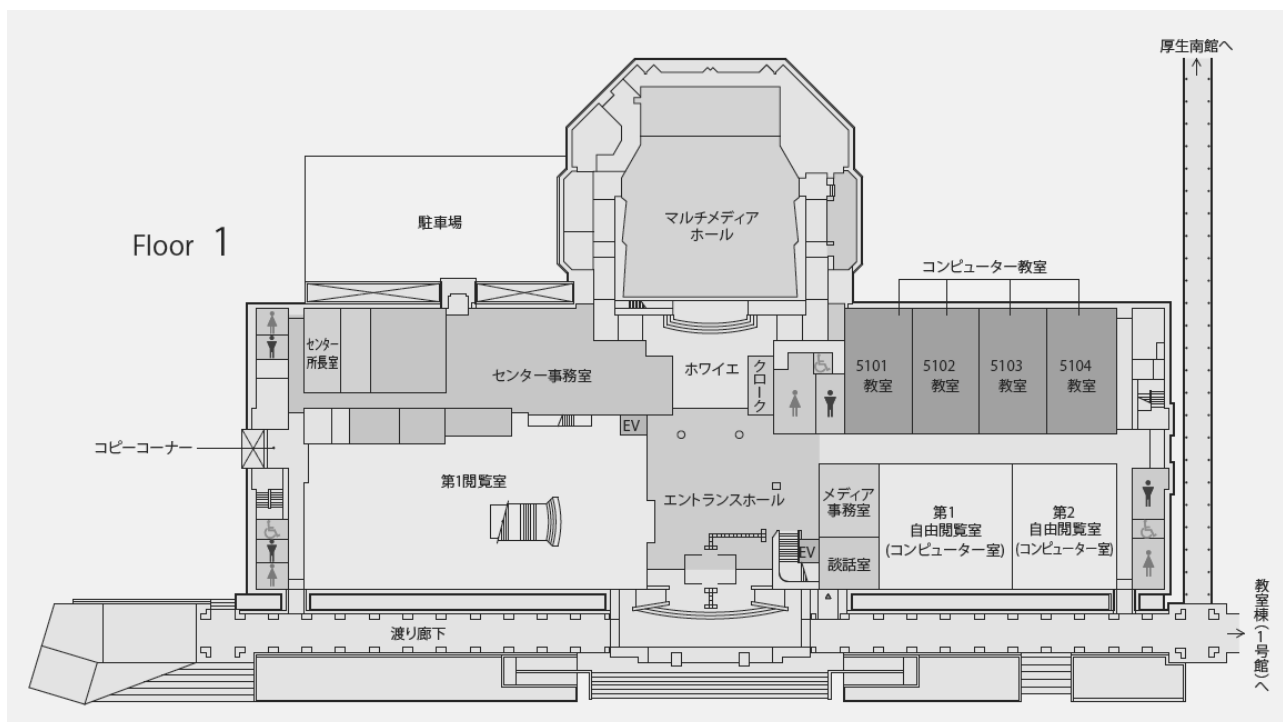
ICC(6号館)2階

フロア案内図

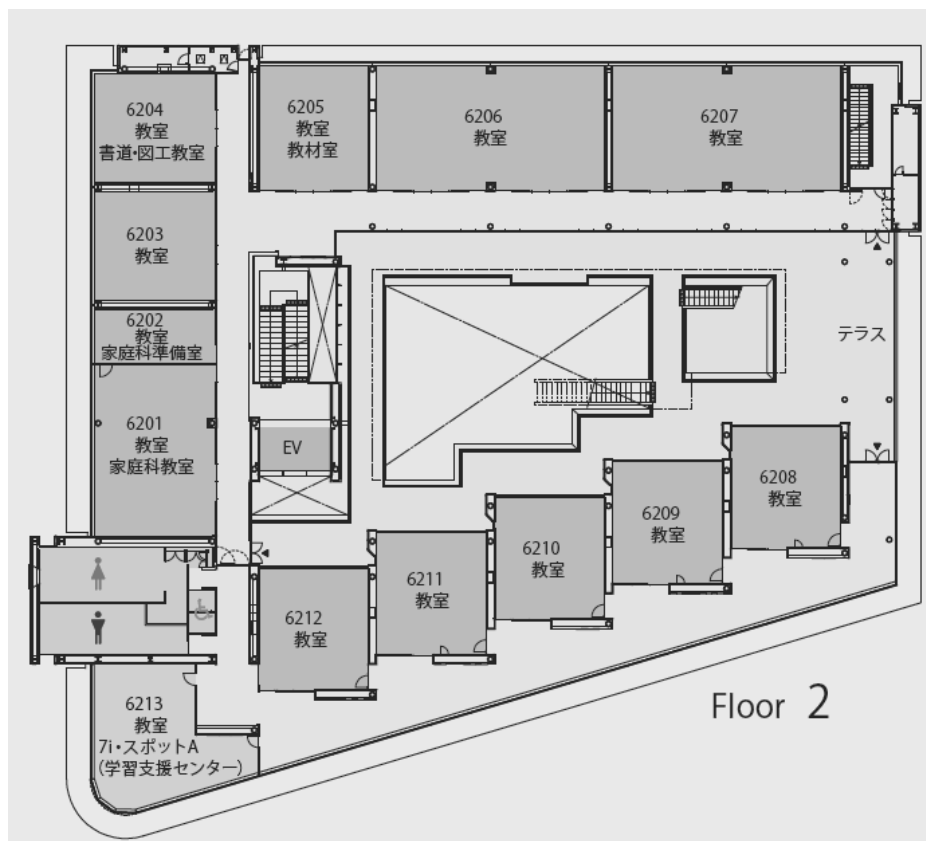
1号館 1・2階



図書館学術情報センター（5号館）1階マルチメディアホール

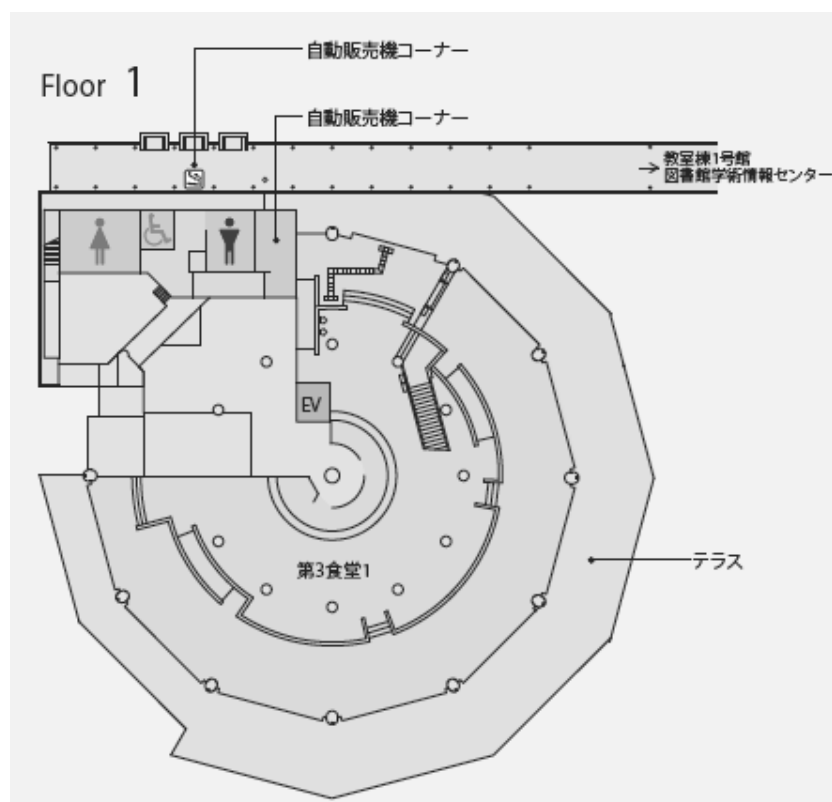


I CC (6号館) 2階



懇親会会場

厚生南館 1 階 第 3 食堂



大会参加者へのご案内

■ 会場

関西外国語大学 中宮キャンパス 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1

■ 受付

8月26日(土) 9:30～10:00 1号館1F 1101教室
11:00～18:00 マルチメディアホール ホワイエ
8月27日(日) 9:00～17:00 6号館2F EVホール横

■ 参加証

お振込の際にお受取になった半券(振替払込請求書兼受領証)をご持参ください。大会当日には、受付にご提示いただきますようお願いいたします。参加者名札を交付いたします。

■ 会費

(円)

項 目	区 分	正会員	非会員	学 生
大会参加	予約	¥7,000	¥9,000	¥3,000
	当日	¥9,000	¥11,000	¥4,000
懇親会	予約	¥4,000	¥4,000	¥2,000
	当日	¥5,000	¥5,000	¥2,000
弁当代 ※8月27日(日)分	1 日	¥1,000	¥1,000	¥1,000
個人研究・事例発表(筆頭発表者) ※論文掲載料を含む	予約のみ	¥2,000	非会員は 個人(筆頭)発表 者にはなれません	¥2,000
上記の連名発表者		¥1,000		¥1,000
研修会参加	予約	¥4,000	¥5,000	¥2,000
	当日	¥5,000	¥6,000	¥3,000

■ クローク

大きな手荷物等を、下記の時間帯でお預かり致します(受付にお申し出下さい)。
なお、貴重品のお預けはご遠慮ください。また、時間内のお引き取りへのご協力をお願い致します。
8月26日(土)11:00～18:00、27日(日)9:00～16:50

■ 食事・休憩スペース

大学内でのご飲食は、各教室をご利用ください。恐れ入りますが、館内は全面禁煙です。

■ 懇親会

8月26日(土) 18:00～20:00 厚生南館1F 第3食堂にて開催します。
当日のお申込みも、受付にてお受けしています。ぜひご参加ください。

■ 書籍販売

大会期間中、書籍の販売を致します。
8月26日(土) 11:00～17:00 マルチメディアホール ホワイエ
8月27日(日) 10:00～15:00 6号館2F EVホール横

■ 大会本部

8月26日(土) ・AM 1号館1F 1101教室 ・PM マルチメディアホール ホワイエ
8月27日(日) 6号館2F 6203教室

■ その他

- ・大会運営係員は、「係員章」をつけています。ご用の際、また、体調不良の場合等、何かございましたらご遠慮なくお声がけください。
- ・期間中の呼び出しはいたしません。
- ・期間中、発表の取り消しなど、緊急の連絡の際は、090-7886-7636(大会実行委員 谷井)までお願いいたします。
- ・大会本部から参加者へのご連絡は、受付に設置する「インフォメーション・ボード」をご覧ください。
- ・参加者相互の連絡には、受付に設置する「メッセージ・ボード」をご利用ください
(なお、利用が済みましたメッセージは消去願います)

個人研究・事例発表、司会進行に関するご案内

■ 個人研究・事例発表の方へ

- ①個人研究・事例発表は、8月27日（日）9：30～11：30の時間帯で行います。
研究発表は、論文集への論文掲載のみならず、口頭発表・質疑応答の30分を行うことによって正式発表とみなされます。
- ②一つの発表時間は30分（口頭発表20分、質疑応答10分）です。発表会場の係員が合図し、時間経過をお知らせします。

1 鈴……………発表時間経過	17 分後
2 鈴……………発表終了	20 分後
3 鈴……………質疑応答終了	30 分後
- ③発表者は、最初に必ず「所属」と「氏名」を明らかにしてください。
- ④筆頭発表者が欠席した場合は取り消しとなります。プログラムに記載されている筆頭発表者（○のついている方）の欠席や、連名発表者による代行などの変更があれば、
 - ・大会前は、大会事務局（03-5228-4418）
 - ・会期中は、大会事務局（090-7886-7636 大会実行委員 谷井）の留守電にメッセージを入れてください。
- ⑤パソコンなど発表に使用する機器は、事前申し込み以外のものは使用できません。また、発表中の機器の操作、メモリの取り扱い等は原則として発表者自身で行ってください。
- ⑥発表会場にて資料を配布される場合は、各自30部程度を用意し、当日早めに発表会場（各教室）の係員にお渡しください。係員が発表時に配布します。

■ 司会進行について

- ①座長は、研究発表・質疑応答の司会進行をお願いいたします。
 - ②座長は、研究発表開始10分前には、担当される研究発表会場へお入りください。
 - ③発表者および質問者には最初に必ず「所属」と「氏名」を明らかにするように促してください。
 - ④発表取り消しがあった場合でも、それ以降の発表を繰り上げないでください。その時間については、自由討議などや休憩時間にあててください。
 - ⑤発表者や質問者には、時間を厳守していただくようご配慮をお願い致します。
- ※ 全体の時間に余裕がある際の管理は座長にお任せします。

8月26日(土) 研修会・大会 1日目

受付時間9:30
研修開始10:00

時間	プログラム	場所	ページ
研 修 会			
10:00～12:30	A 心の葛藤やグループ内での個人間の葛藤を 生産的な力に転換するグループ・リーダーシップ 東京女子医科大学看護学部非常勤講師 三好 真 先生 立正大学心理学部特任教授 水野 修次郎 先生	1102教室	11
	B 量的研究～実験と調査、そして相談支援へ～ 福島大学総合教育研究センター教授 五十嵐 敦 先生	1103教室	12
	C キャリアコンサルティングのスーパービジョン 追手門学院大学心理学部教授 三川 俊樹 先生	1104教室	12
	D 企業で働くカウンセラーが知っておくべき法知識 ～発達障害？パーソナリティ障害？～ 近畿大学法学部教授 三柴 丈典 先生	1205教室	13
	E キャリアカウンセリングのパラダイム変換について 立正大学心理学部教授 小澤 康司 先生	1206教室	13
昼食休憩 12:30～13:30			
開会式 13:30～13:45		マルチメディア ホール	
基調講演 13:45～14:35	テーマ 「組織文化および組織開発を中心とした組織への介入・連携の在り方」 講 師 北居 明（甲南大学経営学部教授）	マルチメディア ホール	14
シンポジウム 14:50～16:35	テーマ 組織への介入・連携の在り方 ～セルフ・キャリアドック視点、ストレスチェック視点、 法的視点から考える～ シンポジスト 平野 光俊（神戸大学大学院経営学研究科教授） 松本 桂樹（株式会社ジャパンEAPシステムズ代表取締役社長） 三柴 丈典（近畿大学法学部教授） 北居 明（甲南大学経営学部教授） 指 定 討 論 者 宮城 まり子（法政大学キャリアデザイン学部教授） 司 会 藤井 由香里（大会実行委員）	マルチメディア ホール	15
活動紹介・各種表彰 16:50～17:45		マルチメディア ホール	
懇親会 18:00～20:00		厚生南館	17

8月27日(日) 大会2日目

受付開始9:00
開 始9:30

時間	プログラム	場所	ページ
個人研究・事例発表			
9:30~11:30	A・B・C・D・E・F・G 7つの会場に分けて開催。 詳細は、18～20ページをごらんください。 研究サロン：11:00～12:30で開催。研究活動について、気軽に情報交換をします（ランチ持参でどうぞ、出入り自由です）。	6号館2F	18
ラウンドテーブル・ディスカッションⅠ			
12:30~14:30	キャリアコンサルタントの質的向上 企画者 浅野 衣子（株式会社キャリア開発サポーターズ） パネリスト 三川 俊樹（追手門学院大学心理学部） パネリスト 深谷 潤一（有限会社キャリアサポーター） パネリスト 文川 実（キャリアコンサルティング技能士会） パネリスト 野々垣 みどり（株式会社エマージェンス）	6206教室	21
	21世紀の『働くこと』へのアプローチ ～ワーキング心理学とウェル・ビーイング～ 企画者 作田 稔（組織能力研究所） パネリスト 五十嵐 敦（福島大学） パネリスト 立花 一元（損害保険ジャパン日本興亜株式会社） パネリスト 山川 純子（インタリスト）	6212教室	21
	「カウンセラーとして働くと同時に組織運営に携わる」というプロセス ～自分という<個人>と自分の<組織>の成長を共にどのように紡ぎ出すのか～ 企画者 久能 代嗣（国際産業心理研究所） パネリスト 松本 桂樹（株式会社ジャパンEAPシステムズ） パネリスト 山口 淳（東京都健康長寿医療センター研究所・NPO法人りぷりんネットワーク） パネリスト 宮城 整（長谷川病院）	6207教室	22
	新しい事例検討会を試してみよう 企画者 廣川 進（大正大学） パネリスト なし 参加者は5分くらいで、気になっているケースについて説明できる心の準備をしてきてください。	6210教室	22
ラウンドテーブル・ディスカッションⅡ			
14:45~16:45	働くすべての人にキャリアコンサルティングを！～企業領域での新たな役割～ 企画者 古今堂 靖（公益財団法人関西カウンセリングセンター） パネリスト 立川 さおり（キャリアコンサルタント、元大阪府教育委員） パネリスト 実成 伸二（JCA社会保険労務士法人代表社労士、特定社会保険労務士、キャリアコンサルタント）	6206教室	23
	大学におけるキャリア教育・キャリア形成支援とキャリアカウンセラーの関わり 企画者 松尾 智晶（京都産業大学 共通教育推進機構） パネリスト 宮村 聡子（日本キャリア開発協会） パネリスト 小山 謙一（神戸大学キャリアアドバイザー）	6207教室	23
	スーパービジョンの実際 企画者 濱田 多美代（日本産業カウンセラー協会） パネリスト 三川 俊樹（追手門学院大学心理学部） パネリスト 寺田 正美（働く人の心とキャリアの相談室） スーパーバイザー 小松原 智子 スーパーバイザー 田中 梅野	6212教室	24
	社会構成主義／ナラティブアプローチの実践～生き方が語られる場とは？ 企画者 渡部 昌平（秋田県立大学） パネリスト 坂田 祐一（株式会社リクルートキャリア） パネリスト 新谷 龍太郎（平安女学院大学） パネリスト 紙野 雪香（大阪府立大学） パネリスト 高橋 浩（ユースキャリア研究所）	6210教室	24

研修会

8月26日(土) 10:00~12:30 (受付 9:30~10:00)

	テーマ	講師
A	心の葛藤やグループ内での個人間の葛藤を生産的な力に転換するグループ・リーダーシップ	三好 真（東京女子医科大学看護学部非常勤講師） 水野 修次郎（立正大学心理学部特任教授）
B	量的研究～実験と調査、そして相談支援へ～	五十嵐 敦（福島大学総合教育研究センター教授）
C	キャリアコンサルティングのスーパービジョン	三川 俊樹（追手門学院大学心理学部教授）
D	企業で働くカウンセラーが知っておくべき法知識～発達障害？パーソナリティ障害？～	三柴 丈典（近畿大学法学部教授）
E	キャリアカウンセリングのパラダイムの変遷について	小澤 康司（立正大学心理学部教授）

A 定員30名	心の葛藤やグループ内での個人間の葛藤を生産的な力に転換するグループ・リーダーシップ	1102 教室
	三好 真（東京女子医科大学看護学部非常勤講師） 水野 修次郎（立正大学心理学部特任教授）	

【研修内容の概要】

グループワークは、治療的あるいは個人の人間性の成長を目的とするものがよく知られている。

グループワークをポジティブな体験として、参加者にとって自信となり有益な体験にするために、グループ内に存在するさまざまな葛藤に目を向ける必要がある。グループにおける葛藤には、個人の内で起こるものと、他者との間で起こるものがある。他者との葛藤は、集団力学に焦点を当てて、グループを成長・発展させるために生産的に活用できる。

この研修では、このグループ内での葛藤を見極め、葛藤をプラスに転換し、個人・グループの双方を発展・成長させるために、その前提条件となる環境を整備する方法の知識と技術、リーダーの役割について理解を深める事を目的とする。さらなる研修が招聘講師である Kim Asner-Self 博士と Julia Champe 博士の講習で計画されている。このワークショップはその前段階の研修にあたる。

【講師紹介】

三好 真

全米認定カウンセラー。米国南イリノイ大学でカウンセラー教育・スーパービジョン学の博士号を取得。在米中、同大学院において、グループワークの概論・実習のインストラクター及びスーパーバイザーとして勤務。スーパービジョン、キャリア教育、臨床心理現場において、グループ・ワークを応用する手法を用いている。

水野 修次郎

教育学博士、臨床心理士、キャリアコンサルタント。心理士の法と倫理、キャリアカウンセリング、家族療法、道徳心理学を専門とする。著書に『最新カウンセリング倫理』『カウンセリング練習帳』訳書に『ゆるしの選択』『サビカス キャリアカウンセリング理論』『ライフデザイン・カウンセリング・マニュアル』がある。

B	量的研究～実験と調査、そして相談支援へ～	1103 教室
定員 30 名	五十嵐 敦（福島大学総合教育研究センター教授）	

【研修内容の概要】

量的研究は、疫学的なデータ分析を背景にメンタルヘルス支援を行う上で不可欠なアプローチです。また、実際の支援活動の効果測定のための強力なエビデンスにもなります。これからの、よりよい支援活動のために、実際の実験や調査の事例から、研究アプローチと量的分析の基本を確認します。

このシリーズも3回目です。同じような内容を予定していますが、今回はデータの集め方とその基本的な処理とともに、メンタルヘルス支援で数字を生かした事例も紹介します。

【講師紹介】

五十嵐 敦

福島大学総合教育研究センター教授（キャリア研究部門）。福島産業保健総合支援センター相談員。専門領域は、職業心理学。職場の安全衛生、組織マネジメント、過重労働とメンタルヘルス、キャリア発達に関する研究とその成果に基づく支援活動を展開。

C	キャリアコンサルティングのスーパービジョン	1104 教室
定員 30 名	三川 俊樹（追手門学院大学心理学部教授）	

【研修内容の概要】

キャリア支援に関する事例検討やスーパービジョンに携わるようになって痛感することは、キャリア支援のプロセスに「カウンセリングがない」ということです。キャリア支援の担当者にカウンセリングのスキルが十分に備わっていないために、堂々巡りの苦戦や予期しない中断を余儀なくされたり、相談を継続することすらできていないケースさえ見受けられます。極端に言えば、「カウンセリング不在のキャリア支援」がまかり通っているようです。事例検討やスーパービジョンの際に、「話を聴いているだけではクライアントの問題は解決しない！」などと言う人に限って、クライアントの話がほとんど聴けていなかったり、「情緒的気づき」が疎かにされたまま、本当に「ただ聴いているだけ」であったというケースに何度も出会いました。

この研修では、汎用性のあるスーパービジョンの視点を持ち、キャリア支援に必要なカウンセリングの力量を確実に高めるための訓練としての「連続的／立体的ロールプレイ」に取り組みます。

【講師紹介】

三川 俊樹

追手門学院大学心理学部教授。専攻はカウンセリング心理学。「生涯発達における精神的健康の予防的・開発的援助」を基本的な研究テーマとして、産業カウンセリングの領域ではメンタルヘルスへの取り組みのほか、生涯を通じたキャリア形成支援をめざすキャリア・カウンセリングに関心をもっている。日本産業カウンセリング学会認定スーパーバイザー、学校心理士スーパーバイザー、上級教育カウンセラー。

D 定員 30 名	企業で働くカウンセラーが知っておくべき法知識 ～発達障害？パーソナリティ障害？～	1205 教室
	三柴 丈典 (近畿大学法学部教授)	

【研修内容の概要】

この研修では、講師がこれまでに相談を受けて来た数千件の現場事例や数多の訴訟事例を集約し、発達やパーソナリティに問題を抱える労働者を主人公とするモデル事例を素材として、法的に適正な対応法についてお話しします。

一般原則としての「手続的理性」という概念についてお伝えした上で、許される採用方法、ハラスメントによる労災の判断基準、意識喪失が見られる場合の自動車通勤禁止措置の合法性、精神科受診命令の合法性、会社指定病院での診断内容の会社への提供を本人が拒否した場合の対応法、休業命令の合法性、疾病休職期間中の産前産後休暇の取得を拒否できるか、賃金支払義務が生じる時間の考え方、近年の障害者雇用関係法の民事訴訟への影響のほか、実践的な法律問題化の予防策、活用できる社会保障・福祉制度などについても取り上げる予定ですので、ふるってのご参加をお待ちしております。

【講師紹介】

三柴 丈典

1971 年愛知県生まれ。1999 年に一橋大学大学院法学研究科博士後期課程を修了、博士（法学）を取得し、同年に近畿大学法学部講師、2012 年に同教授となり、現在に至る。専門は、労働法、産業保健法。2011 年 4 月より厚生労働省労働政策審議会安全衛生分科会公益代表委員。2014 年 7 月衆議院厚生労働委員会参考人。2012 年より一般社団法人産業保健法学研究会主宰者兼理事を兼任。産業保健法に関する著書や論文を多数執筆している。

E 定員 30 名	キャリアカウンセリングのパラダイムの変遷について	1206 教室
	小澤 康司 (立正大学心理学部教授)	

【研修内容の概要】

21 世紀の労働は、仕事が短期のプロジェクトへと変化し、生涯に渡る安定した仕事はなくなり個人は自分の人生を設計し、創造的に生きなければならない。

サビカスは社会構成主義の立場からキャリア構成理論である「ライフ・デザイン・アプローチ」を提唱した。また、国連の推計によれば、2050 年までに、日本の 100 歳以上人口は 100 万人を突破する。従来の「教育—仕事—引退」の 3 ステージモデルが崩壊し、長寿社会を生き抜くライフ・デザインが求められている。

このような変化の時代を生き抜くためのライフ・デザインについて、キャリアカウンセリングとキャリア教育の両面から考えてゆく。

【講師紹介】

小澤 康司

立正大学心理学部教授。

一般社団法人日本産業カウンセリング学会会長、NPO 法人日本キャリア・カウンセリング研究会会長、日本キャリア開発研究センター (JICD) 理事。

統合的ライフプランニング (S.Hansen) やライフデザイン・アプローチ (M.L.Savickas) などの社会構成主義的キャリア支援方法の日本への導入に積極的に取り組んでいる。

基調講演

8月26日(土) 13:45~14:35

場所：マルチメディアホール

「組織文化および組織開発を中心とした組織への介入・連携の在り方」

講 師

北居 明（甲南大学経営学部教授）

■概要

「組織を改善し、人々がいきいきと働くことができる職場を作りたい」という思いは、組織に関わる全ての実務家と研究者の願いである。ところが、この願いを叶えるのは簡単ではない。その理由のひとつは、われわれの組織に対する「見方」にあると考えられる。「組織をよくしたい」と考える実務家や研究者は、これまで組織を問題解決されるべき対象と捉える傾向にあった。このような捉え方の中で、問題を発見し、分析し、解決するための様々な処方箋を考え実践してきたのである。しかしながら、このような取り組みの多くは成功しなかった。なぜなら、問題を発見し解決しようとするアプローチは、組織の中に様々な問題を作り出してしまう傾向があるためである。そのおかげで、変革に関わる人々だけでなく、それ以外のメンバーも疲弊し、結果的に変革の取り組みが頓挫することが多く見られた。

一方、近年では、組織を改善する方法としてまったく異なるアプローチが取られるようになってきている。それは、「解決志向マネジメント」あるいは「マネジメントにおける解決志向アプローチ」と呼ばれるものである。解決志向は、もともとセラピーの分野で発展してきた方法論であるが、90年代後半頃から会社組織のマネジメントや組織改革で急速に用いられるようになってきた。具体的な実践方法は多岐にわたり、組織開発のひとつであるアプレシエイティブ・インクワイアリー（Appreciative Inquiry）も、解決志向マネジメントの原理を応用したものである。本講演では、解決志向マネジメントの原理、アプレシエイティブ・インクワイアリーの実践事例の紹介を通じて、組織文化および組織開発を中心とした組織への介入・連携の在り方について議論を深めたい。

■講師紹介

甲南大学経営学部教授。1990年滋賀大学経済学部卒業。1995年神戸大学大学院経営学研究科後期博士課程修了 博士（経営学）。大阪府立大学経済学部教授を経て、2015年より現職。2007年に「組織文化と組織コミットメントの関係に関する実証研究－クロスレベル分析を通じて－」（『組織科学』第41巻第2号）で組織学会高宮賞を受賞。主な著作に『学習を促す組織文化－マルチレベル・アプローチによる実証分析－』（有斐閣）、『健康いきいき職場づくり』（生産性出版）、「組織文化の構造と変革プロセスに対する批判的考察：社会構築主義的観点から」（『甲南経営研究』第57巻第1号）、「経営学の視点からの職場環境改善の進め方：対話型組織開発の応用事例」（『関西福祉科学大学EAP研究所紀要』第10号）他多数。

大会シンポジウム

8月26日(土) 14:50~16:35
マルチメディアホール

「組織への介入・連携の在り方

～セルフ・キャリアドック視点、ストレスチェック視点、法的視点から考える～」

シンポジスト	平野 光俊	(神戸大学大学院経営学研究科教授)
シンポジスト	松本 桂樹	(株式会社ジャパンEAPシステムズ代表取締役社長)
シンポジスト	三柴 丈典	(近畿大学法学部教授)
シンポジスト	北居 明	(甲南大学経営学部教授)
指定討論者	宮城 まり子	(法政大学キャリアデザイン学部教授)
司会	藤井 由香里	(大会実行委員)

■企画趣旨

働き方改革は日本の企業や暮らし方の文化を変えるものである。女性も男性も、高齢者も若者も、一人ひとりのニーズにあった納得のいく働き方を実現するため、働き方改革の実現に向けた取組が急速に進められているところである。また、一昨年にストレスチェックの実施が義務化され、昨年度からはセルフ・キャリアドックの普及・推進が図られている。働く人や組織を取り巻く環境が急速に変化する中、カウンセラーやキャリアコンサルタントが押さえておくべきポイントは何か。大会シンポジウムでは、セルフ・キャリアドック視点、ストレスチェック視点、そして法的視点から、働く人への支援および組織介入・連携のあり方や課題を検討する。

シンポジスト

平野 光俊 (神戸大学大学院経営学研究科教授)

■組織への介入・連携の在り方～セルフ・キャリアドック視点から～

平成28年4月1日職業能力開発促進法が改正された。そのポイントは労働者に自身のキャリア開発における責任を課し、同時に事業主の責務としてキャリア・コンサルティングの機会と包括的なキャリア開発支援を行う努力義務を規定したことである。セルフ・キャリアドック(SCD)は、そうした背景を踏まえた取り組みである。キャリア自律を前提とするSCDにおいて、キャリアコンサルタント(CCt)には、個人の主体性をいっそう考慮したキャリア開発の短期的・長期的視点が求められる。

キャリア開発の長期的視点は、時間の経過とともに個人がどのようなキャリアを選択していくか、その移行過程に関心が向けられる。一方、短期的視点は、個人の要因と組織の要因のぶつかり合いから生じる役割行動に注目する。短期的視点は過去から継続しているキャリア発達過程の一断面であり、役割行動の集積が長期的キャリア開発につながるとすれば、CCtには、労働者の現在の役割にポジティブな変化をもたらすことが期待される。ここで近年注目される概念がジョブ・クラフティング(JC)である。JCとは個々人が仕事や人間関係の境界に関して行う物理的・心理的・認知的な変化のことである。またJCを高める環境として「思いやりのコミュニティ」をつくることも重要である。CCtはこうしたことに貢献できるのか。その可能性を考えてみたい。

シンポジスト

松本 桂樹 (株式会社ジャパンEAPシステムズ代表取締役社長)

■ストレスチェックへの関わり～実施の支援、結果の解説、結果を踏まえた改善策～

義務化されたストレスチェック制度がスタートし、今年度は既に2回目の実施に入っている。法制化されて初めての実施であった昨年は、多くの企業において無事に実施すること自体が目的となった。過去に職業性ストレス簡易調査票を使ってストレスチェックを行っていた企業でも、「個人情報の取り扱い方が大きく変わった」など、実施に戸惑った様子であった。結果を踏まえ、何らかの対策を施すまでには至っていない企業が多い。

演者の勤務するEAP機関も法制化に対応したストレスチェックのサービス提供を行ってきたが、例えば判定図で判断して「部署毎に効果的な改善策を示せ」と無茶な要求をされることも多かった。特定原因への特定対策である魔法の弾丸(magic bullet)を期待する声も多くあがったが、実際はそんな都合のよい弾丸は存在しない。

ストレスチェック後の職場環境改善策を検討する際は、シャインの「プロセスコンサルティング」を基本に捉えて行っている。特に現場の管理職に結果をフィードバックする際は、管理職が自分で改善に向けていけるように、コンサルタントが問題の理解の仕方や解決法を引き出していくアプローチが重要だと考えている。

シンポジスト

三柴 丈典 (近畿大学法学部教授)

■法的視点から—過重労働に関する判例傾向を素材として—

1 判例の示唆

1. 1 出発点

電通事件最高裁判決により、雇用関係上の過重な心理的・身体的負荷に起因する健康障害事案では、一義的に広く使用者の過失責任を認め、被災労働者側の明らかな異常が被災に寄与しない限り、減責しない法理がほぼ確立した。

1. 2 2007～2011年に出た裁判例の傾向(三柴丈典『裁判所は産業ストレスをどう考えたか』(労働調査会、2011年)参照)

- ①過重な負荷要因として、人事労務管理の基本(人選、教育訓練、動機づけ、職務設計)、組織内コミュニケーションに関わる問題を認定する傾向がみられた。
- ②とはいえ、長時間労働を重視する傾向がうかがえた。労働の質量、働き方の裁量、上司や同僚の支援を尺度とする例も多かった。
- ③過重な負荷要因を認めれば、業務起因性や、使用者の民事過失責任は、半自動的に「推認」する傾向があった。裏付けは疫学や経験則に拠っていた。
- ④過重性の判断基準は平均人とするが、その多様性が認められていた。

1. 3 その後の判例傾向

- ア 上記の傾向の継続
- イ 1次予防から3次予防にまたがる多様な予防措置を求める
- ウ 産業医の関与の必要性を示唆する例の登場
- エ 本人からのメンタルヘルス情報の不提供の法的考慮を慎重に行う旨の最判の登場
- オ 取締役の民事責任を認める判例の増加

2 実効的な対応策の検討

長時間労働は象徴にすぎず、個人と組織の双方が、その個性に応じて進化し環境適応していけるか、が本質的な課題。

OECD的な尺度による労働生産性向上施策は、短期的にはカンフル剤になり得るが、日本的雇用慣行や働き方の変化を十分に踏まえない時短政策は、形式的な労働時間コンプライアンスや、短期視点での目に見えやすい成果や問題を起こさないことを重視させ、長期的に持続的な生産力(特に人材育成機能)の源泉となる「贅肉の中の毛細血管」を切断してしまう危険性がある。

長期的には、①人事労務管理の基本的な要素の再構築と、②個々人の共同体感覚(共同体帰属意識)を含めたアイデンティティーの向上を図る必要があり、また、そうした作業を支援する専門領域・専門家の共働を図る必要がある。

MEMO

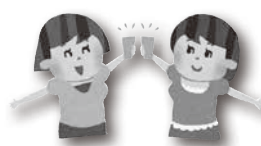
懇親会のご案内

日 時 8月26日(土) 18:00~20:00

会 場 厚生南館1F 第3食堂



多数の皆様のご参加をお待ちしております。



個人研究・事例発表

8月27日(日) 9:30~11:30

ICC (6号館) 2階

A (6206 教室)

座長：渡部 昌平 (秋田県立大学)

①	大学でのキャリアコンサルティング ～キャリアコンサルタントの役割についての考察～ ○横山 慶一 (大阪府立大学学生センター学生課キャリアサポート室)
②	キャリアストーリー・インタビューをグループで用いた語りの形成効果 ○野条 美貴 (東京工科大学)
③	1年生の全員面談を職員チームで実行中 ～2014年からの“もちアップ”プログラムについて～ ○加賀谷 晴美 (札幌大学・札幌大学女子短期大学部)
④	不安が強い学生に対するナラティブ・キャリア・カウンセリング ○渡部 昌平 (秋田県立大学)

B (6207 教室)

座長：小澤康司 (立正大学)

①	30歳の過渡期にある日本人女性へのキャリア構成インタビュー・アプローチ (仮) ○木下 城康 (公益財団法人モラロジー研究所)
②	キャリアカウンセラーへのCCIの実施 ～プロセスとその効果～ ○長谷川 能扶子 (有限会社Cマインド)
③	レジリエンスに気づく・活かす ―漢字フォーカシングを用いたグループワーク― ○安達 夏織 (神戸学院大学大学院 人間文化学研究科) 土井 晶子 (神戸学院大学 人文学部)
④	「バケット・リスト」ワークの社会人への適用事例 ～一生のうちにやりたいことを整理するワーク～ ○小倉 泰憲 (山形大学)

C (6208 教室)

座長：廣川 進 (大正大学)

①	企業支援の視点から考える、精神障がい者の定着支援の試みー産業領域における心理士の役割ー ○諏訪 裕子 (キューブ・インテグレーション株式会社) 中田 貴晃 (キューブ・インテグレーション株式会社) 廣川 進 (大正大学)
②	メンタルヘルスの不調による休職への適応を促す緩和勤務 ～当事者感覚を尊重した介入と連携～ ○村久保 雅孝 (佐賀大学)
③	社会復帰支援におけるプログラム適合性～作業検査から見られる休職者の状態像～ ○塚原 拓馬 (実践女子大学)
④	支援機関を利用する若年無業者の就労に向けた準備状態を測る指標の再検討 ～福祉就労における「職業準備性」との比較～ ○小坂 淑子 (認定非営利活動法人 育て上げネット)

D (6209 教室)

座長：松本桂樹(株式会社ジャパンEAPシステムズ)

①	『働くことをいかに語るか』その多様性と可能性について ～文学作品に読む、働くという“問い”～ ○奥 憲太(有限責任あずさ監査法人 大阪事務所 経営企画)
②	相談関係・現実受容・問題解決の3stepsモデルによる統合的カウンセリングについて ～C.Cloninger理論を活用した関係構築～ ○杉山 崇(神奈川大学)
③	新時代創生への産業カウンセリングの役割再考 地域活動事例から：地域での「人材発掘・育成の新しい試み」への参画 ○平川 完(公益財団法人関西カウンセリングセンター)
④	定年退職後のアイデンティティとセルフの連続性と非連続性について ○水野 修次郎(立正大学)

E (6210 教室)

座長：古田 克利(関西外国語大学)

①	強みを中心としたキャリア形成支援プログラムが自己PRに関する効力感と自己形成意識に与える効果 ○森本 哲介(金沢学院大学文学部) 高橋 誠(埼玉学園大学人間学部) 田原 直久(埼玉大学教育機構)
②	国会議員秘書のストレスに関する研究 ―公設秘書と私設秘書のストレスの違いを中心に― ○舟木 彩乃(筑波大学大学院人間総合科学研究科) 水上 勝義(筑波大学大学院人間総合科学研究科)
③	キャリア意識と決定プロセス―大学生・フリーター・無業者の比較― ○安達 智子(大阪教育大学)
④	キャリアカウンセリングの事例検討に関する研究 ～PCAGIP法を用いた実践を通して～ ○古田 克利(関西外国語大学)

(○は筆頭発表者です)

F (6211 教室)

座長：野々垣みどり（株式会社エマージェンス）

①	今は亡き我が子へのレクイエム ～すばらしい出逢いをありがとう～ ○樋口 榮治（国立県営兵庫障害者職業能力開発校）
②	若年無業者支援に関わる支援者の意識について ―中高年者の NPO での支援活動に焦点をあてて― ○田中 小百合（NPO法人キャリアデザイン研究所） 大川 一郎（筑波大学）
③	大学生版キャリアアンカー質問票作成の試み（仮） ○吉川 雅也（関西外国語大学）

G (6212 教室)

座長：五十嵐 敦（福島大学）

①	職場のメンタルヘルスについて ～職業生活のなかのストレスと成長感の関連から ○五十嵐 敦（福島大学キャリア研究部門）
②	ストレスチェック制度における高ストレス者面接の課題とカウンセラーへの期待 ○米沢 宏（株式会社ジャパンEAPシステムズ）
③	ストレスチェック集団分析結果に関する考察と取り組み ～組織風土調査・満足度調査結果をふまえて～ ○岩尾 英美（医療法人 久寿会 鈴木病院）

【研究サロン】：11:00～12:30で開催（G会場 6212教室にて）。

研究活動について、気軽に情報交換します。（ランチ持参でどうぞ、出入り自由です）

ラウンドテーブル・ディスカッション I・II

ラウンドテーブル・ディスカッション I

8月27日(日) 12:30~14:30

8月27日(日)

1	キャリアコンサルタントの質的向上		会場：6206 教室
	企画者	浅野 衣子（株式会社キャリア開発サポーターズ）	
	パネリスト	三川 俊樹（追手門学院大学心理学部）	
	パネリスト	深谷 潤一（有限会社キャリアサポーター）	
	パネリスト	文川 実（キャリアコンサルティング技能士会）	
	パネリスト	野々垣 みどり（株式会社エマージェンス）	

キャリアコンサルタントが国家資格になり1年が経過し、キャリアコンサルタントの質が問われています。昨年の大会の時も同じタイトルでラウンドテーブルを開催しました。大勢の方にご参加いただきましたが、十分な議論を交わすまでには至りませんでした。

今年も限られた時間の中ですが、進め方に一工夫し、キャリアコンサルタントの質的向上をめざし、一人ひとりが何が出来るのかを大いに語りあいたいと思います。ご参加お待ちしております。

2	21世紀の『働くこと』へのアプローチ ～ワーキング心理学とウェル・ビーイング～		会場：6212 教室
	企画者	作田 稔（組織能力研究所）	
	パネリスト	五十嵐 敦（福島大学）	
	パネリスト	立花 一元（損害保険ジャパン日本興亜株式会社）	
	パネリスト	山川 純子（インタリスト）	

激変する21世紀、人生100年を展望して生きる私たち個人・組織・社会にとって、「働くこと」とはどのような意味を持つのでしょうか。「働くこと」のアイデンティティと心理的発達、世代役割の共創はどのように進むのか。企業の中では、どのようなライフ・デザインへの取組みと「働くこと」への変革を進めているのか。

更に、キャリア支援の実践家は、これからの「働くこと」にどう立ち向かおうとしているのか、新たな時代に向けた「ワーキング心理学」にも触れながら、「21世紀の働くこと」について参加者と議論を深めます。

3	「カウンセラーとして働くと同時に組織運営に携わる」というプロセス ～自分という＜個人＞と自分の＜組織＞の成長を共にどのように紡ぎ出すのか～		会場：6207 教室
	企画者	久能 代嗣（国際産業心理研究所）	
	パネリスト	松本 桂樹（株式会社ジャパンEAPシステムズ）	
	パネリスト	宮城 整（長谷川病院活動療法科）	
	パネリスト	山口 淳（東京都健康長寿医療センター研究所・ NPO 法人りぶりんとネットワーク）	

カウンセラーの多くは、何等かの形で組織に所属し、否応なく組織の影響や制約を受けることになります。したがってカウンセラーは自身の臨床実践をより効果的なものとするためにも、所属する「組織」への効果的なコミットメントと、それを可能とする「個人」としての自己成長をどのように成し遂げるかを常に自らに問わざるを得ないと言えましょう。

この企画では、「カウンセラーであると同時に組織運営に携わる」3名のパネリストにご登壇いただきます。臨床領域も組織内ポジションも異なるパネリストの＜物語＞から、「個人と組織の成長」がどのように織り合わされていったかを、ご参加の皆様と共に読み取り、かつ深めていければと思っています。

4	新しい事例検討会を試してみよう		会場：6210 教室
	企画者	廣川 進（大正大学）	
	パネリスト	なし	
	参加者は5分くらいで、気になっているケースについて、説明できる心の準備をしてきてください。		

昨年から各所で実施してきたこの企画のもとになっている本が以下の2冊。

『アセスメント技術を高めるハンドブック：ケースレポートの方法からケース検討会議の技術まで』近藤直司、『新しい事例検討法PCAGIP入門』村山正治。

ケース報告者の負担も傷つきも最小限で、支援の方向を考えるための見立て（アセスメント）力を鍛える検討会です。カウンセリングのケースに限らず、関係が気になっている人のことでも結構です。5分で話せるくらいの準備があれば、ぜひご参加ください。

ラウンドテーブル・ディスカッション II

8月27日(日) 14:45~16:45

8月27日(日)

5	働くすべての人にキャリアコンサルティングを！～企業領域での新たな役割～		会場：6206 教室
	企画者	古今堂 靖（公益財団法人関西カウンセリングセンター）	
	パネリスト	立川 さおり（キャリアコンサルタント、元大阪府教育委員）	
	パネリスト	実成 伸二（JCA 社会保険労務士法人代表社員、 特定社会保険労務士、キャリアコンサルタント）	

厚生労働省では、働くすべての人にキャリア形成支援の機会をつくるため、雇用関係助成金が整備されています。平成29年度の「人材開発支援助成金」の「セルフ・キャリアドック制度」は、労働者にキャリアコンサルティングを定期的に提供する仕組みです。

キャリアコンサルタントは、事業主と協議しながら実施計画を作成・証明することが必須になり、キャリアコンサルティングを確実に定着していく内容となっています。それぞれの立場から、様々な制度の適正かつ円滑な施行のため、制度普及や導入前後のあり方、定期的かつ持続的な運用への働きかけ等、キャリアコンサルティングの新たな可能性を会場の皆様とともに共有できれば幸いです。

6	大学におけるキャリア教育・キャリア形成支援とキャリアカウンセラーの関わり		会場：6207 教室
	企画者	松尾 智晶（京都産業大学 共通教育推進機構）	
	パネリスト	宮村 聡子（日本キャリア開発協会）	
	パネリスト	小山 謙一（神戸大学キャリアアドバイザー）	

当ラウンドテーブルでは、パネリストの事例提供と、参加者全員での意見交換をいたします。同じ問題意識やご経験をお持ちの皆様のネットワーク形成と、実践の参考になれば幸いです。

大学は『全入時代』を迎え、不本意・無本意入学者の割合が増えています。一方、高等教育は学生に「受動」から「能動」へと姿勢を変え、「大学で何がしたいのか」「何に興味関心があり何を学びたいのか」を基とした行動を求めます。この結果、大学不適應や就職活動に向き合えない学生への支援が求められています。事例は私立大学、国立大学、キャリアカウンセラーと大学をコーディネートする機関の立場から見た、大学におけるキャリア教育や就職相談の現場における実践と課題を発表します。

7	スーパービジョンの実際		会場：6212 教室
	企画者	濱田 多美代（日本産業カウンセラー協会）	
	パネリスト	三川 俊樹（追手門学院大学心理学部）	
	パネリスト	寺田 正美（働く人の心とキャリアの相談室）	
	スーパーバイザー	小松原 智子	
	スーパーバイザー	田中 梅野	

本学会では2009年度より汎用性のあるスーパービジョンモデルに基づいたスーパーバイザー養成講座を開講しています。昨年の大会の研修においては、「学派を超えた汎用性のあるスーパービジョン」を尾久裕紀先生より講義いたしました。

今回は、「スーパービジョンの実際とはどのようなものか」について、学会認定スーパーバイザーによるライブでご紹介いたします。

8	社会構成主義／ナラティブアプローチの実践～生き方が語られる場とは？		会場：6210 教室
	企画者	渡部 昌平（秋田県立大学）	
	パネリスト	坂田 祐一（株式会社リクルートキャリア）	
	パネリスト	新谷 龍太郎（平安女学院大学）	
	パネリスト	紙野 雪香（大阪府立大学）	
	パネリスト	高橋 浩（ユースキャリア研究所）	

自分の生き方やあり方（ライフ・キャリア）について考えるのは、どんな時・場面でしょうか。進路選択、就職活動、結婚や出産、転職・退職あるいは何らかの問題や危機への直面はたまた自らの人生を振り返る時。我々は生きていく上で、仕事にやりがいを感じたり、趣味や人間関係に生きがいを感じたり、あるいは逆にその中に負担や負荷、不安を感じたりすることがあります。いつどんなふうによりがいや生きがいを整理して、これからをどう「良く生きて」いけるか。多くの皆さんと情報・意見交換したいと思っています。

[illegible]

日本産業カウンセリング学会 第 22 回大会 後援団体機関芳名

- 厚生労働省
- 特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
- 独立行政法人労働者健康安全機構
- 中央労働災害防止協会
- 独立行政法人労働政策研究・研修機構
- 中央職業能力開発協会
- 公益財団法人日本生産性本部
- 日本商工会議所
- 公益財団法人関西生産性本部
- 一般社団法人日本産業カウンセラー協会
- 公益社団法人関西カウンセリングセンター
- 日本カウンセリング学会
- 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
- 日本キャリア教育学会
- 特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会
- 日本キャリアデザイン学会

日本産業カウンセリング学会 第 22 回大会 広告賛助団体芳名

- 株式会社日本・精神技術研究所
- J P P 株式会社
- 福村出版株式会社
- 株式会社ナカニシヤ出版
- ヒューマン・フロンティア株式会社
- 株式会社北大路書房
- 株式会社ジャパン E A P システムズ
- 株式会社ヘルスウェイブ
- 保健農園ホテル フフ山梨
- 株式会社ヘルスウェイブ京都産業メンタルセンター
- 株式会社金子書房

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を賜りました。
ここにご芳名を記し、厚くお礼を申し上げます。

2017 年 7 月吉日

日本産業カウンセリング学会 第 22 回大会委員長 古田 克利

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

http://www.kitaohji.com

振替 01050-4-2083

キャリアコンサルタントのための カウンセリング入門

杉原保史著 四六・216頁・本体1800円＋税
キャリア・アカウンティングの現場で直面する苦勞と悩みに平易に語りかける。第1部では、相談をより深め有意義にするための基本的見方や考え方、ちょっとしたヒントやコツをエピソードで紹介。第2部では、実践に役立つ代表的な心理カウンセリングの理論と技法を、エッセンスにしばって概説する。

シリーズ 産業・組織心理学 心理学と仕事11

—2017年夏 発行予定!— 太田信夫監修 金井篤子編集 A5・約180頁・予価2200円＋税
働く人間の心や行動のメカニズムを対象として、人事・組織行動・消費行動・安全とリスク管理・職場のストレスとメンタルヘルスについて概説。産業や組織の現場において、心理学を活かして活躍する人々の声も掲載。

セルフ・コントロールの心理学

—自己制御の基礎と教育・医療・矯正への応用— 高橋雅治編著 A5・408頁・本体4800円＋税
経済行動をはじめ、基礎から応用の最新成果を重点的に解説。神経基盤に関する論述まで包含。即時的な小報酬（衝動性）および遅延される大報酬（セルフ・コントロール）を軸に行動背景にある心理的なメカニズムや影響を及ぼす社会的諸要因の解明を目指す。

ナースのためのシシリー・ソンドース

—ターミナルケア 死にゆく人に寄り添うということ— C. ソンドース著 小森康永編訳 四六・196頁・本体2200円＋税
看護師は、どのように終末期の患者とその家族の苦悩に寄り添えばよいのか？ 看護師から医師へと歩んできた著者が、看護について率直に生き生きと語った13本の寄稿論文を収載。緩和ケアの「原点」に立ち返り、現代的意義を問う。

心理カウンセラーと考える ハラスメントの予防と相談

—大学における相互尊重のコミュニティづくり— 杉原保史著 四六・208頁・本体2100円＋税
心理相談に携わった経験と、心理学の知見を背景に、相談対応で必要となる知識と技術を紹介する。加害と被害の二者関係に留めず、コミュニティ全体の問題として扱う。相談窓口である相談員や教職員に向け、日常的で身近な問題への取り組みに誘う。

シリーズ 健康心理学 心理学と仕事12

—2017年刊行予定!— 太田信夫監修 竹中晃二編集 A5・約200頁・予価2200円＋税
医療・保健・福祉・教育・産業などの実践の場で活かされる健康心理学。本書では、メンタルヘルス問題、ライフスタイル改善、ライフステージや対象者に合わせた貢献、という3つの分野から研究と実践を伝える。「予防」の観点から奮闘する「現場の声」も多数掲載。

心理学からみた 食べる行動【仮題】

—基礎から臨床までを科学する— 青山謙二郎・武藤崇編著 A5・264頁・本体2500円＋税
なぜ食べるのか。どうして過食はおきるのか。重要な研究を厳選し、食行動のコントロールにおける「心理学的メカニズム」を解説。また、偏食や肥満、糖尿病の問題、摂食障害を取りあげ、科学的な根拠に基づいた食行動の異常の理解と介入方法を紹介する。

シシリー・ソンドース初期論文集1958-1966

—トータルベイン 緩和ケアの源流をもとめて— C. ソンドース著 小森康永編訳 四六・264頁・本体2800円＋税
近代ホスピスの設立と普及に尽力し、死にゆく人の「痛み」を捉えようとした著者の思想を再訪。1958年の第一論文「がんて死ぬこと」をはじめ、8つの初期の論考を収録。編訳者の解説を通して、晩年に至るまでの思考の軌跡を辿る。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事【全20巻】

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・約160～220頁・予価2000～2600円＋税

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

キャリアコンサルタント更新講習



詳細はこちらから



日精研 更新講習

検索

当社の講座の特徴は、臨床現場での40年以上にわたる心理相談、心理教育を行ってきたノウハウの蓄積にあります。また、心理サービスをこれだけ長期に行ってきた民間企業として、キャリアコンサルタント更新講習を実施している機関は日本で唯一といえます。

お勤め講座は、サビカス理論の基礎を学びながら、キャリア・ストーリーインタビューの実践方法を学べる講座です。インタビューでは人生のテーマや転機について深く聴いていきます。過去の体験と現在の状況をつなげ、より深く人生を見直すような体験をする手法を学べます。

講座名	株式会社日本・精神技術研究所キャリアコンサルタント更新 知識講習	日時	9月30日(土) 14:00～17:30 10月1日(日) 10:00～16:30
	【日精研】演習で学ぶキャリア・ストーリーインタビューの実践 (技能講習)	日時	9月3日(日) 13:00～17:30
	【日精研】クライアント中心療法を活用した共感的スキルの向上 (技能講習)	日時	11月18日(土) 13:00～18:30

アサーション〈自己表現〉トレーニング ベーシックコース

日精研では、心の専門家から一般の方を対象にアサーション〈自己表現〉トレーニングを開催していますが、これまで実に多くの産業カウンセラーの方が学んできました。

これは、カウンセラーとして面接場で求められる「クライアントを尊重しつつ率直で正直な自己開示を行うこと」にアサーションが役立つからだといえます。通常、東京での開催が多いアサーション〈自己表現〉トレーニングですが、各地開催することが決まりました。

この機会をぜひご利用ください。

詳細、お申込みは

日精研アサーション

検索



日程	福岡 10月7日(土)～8日(日)	時間	1日目 10:00～18:00 2日目 10:00～17:30
	大阪 12月16日(土)～17日(日)	定員	24名
		受講料	36,000円(8%税込)
		講師	日精研認定トレーナー

カウンセラー向け WEB 講座

日精研クラウド学院



無料サンプル動画、
詳細はこちらから



日精研クラウド学院

検索

「日精研クラウド学院」は、どなたでも利用できる動画配信サービスです。ネット接続したPC、タブレット、スマートフォンがあれば、いつでもどこでも視聴可能です。講師はその道の第一人者ばかりなので安心して実践的な内容を学ぶことができます。まずは各講座の無料サンプル動画をチェック!

講座名	「カウンセリングとは」 (141分)	講師	平木 典子	受講料	3,000円(税抜)	他にも「社会構成主義とアサーション」「ナラティブ・セラピー入門」など多数あり
	「うつ病(気分障害)の知識と対応法」 (89分)	講師	尾久 裕紀	受講料	3,000円(税抜)	
	「PCAGIP 法とは何か」 (156分)	講師	村山 正治	受講料	3,000円(税抜)	

EAPで活力ある組織へ



株式会社 ジャパンEAPシステムズ

東京・仙台・名古屋・大阪・福岡

本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-7

Tel 03-3362-6669 <http://www.jes.ne.jp>

フフの マインドフルネス

「今この瞬間」に意識を向け、
自分のココロに自然と湧き起こる思念を
俯瞰的に捉え続ける「マインドフルネス」体験。
富士山を望み見る豊かな自然の中で
体験してみませんか。

保健農園ホテル
フフ山梨

〒404-0003

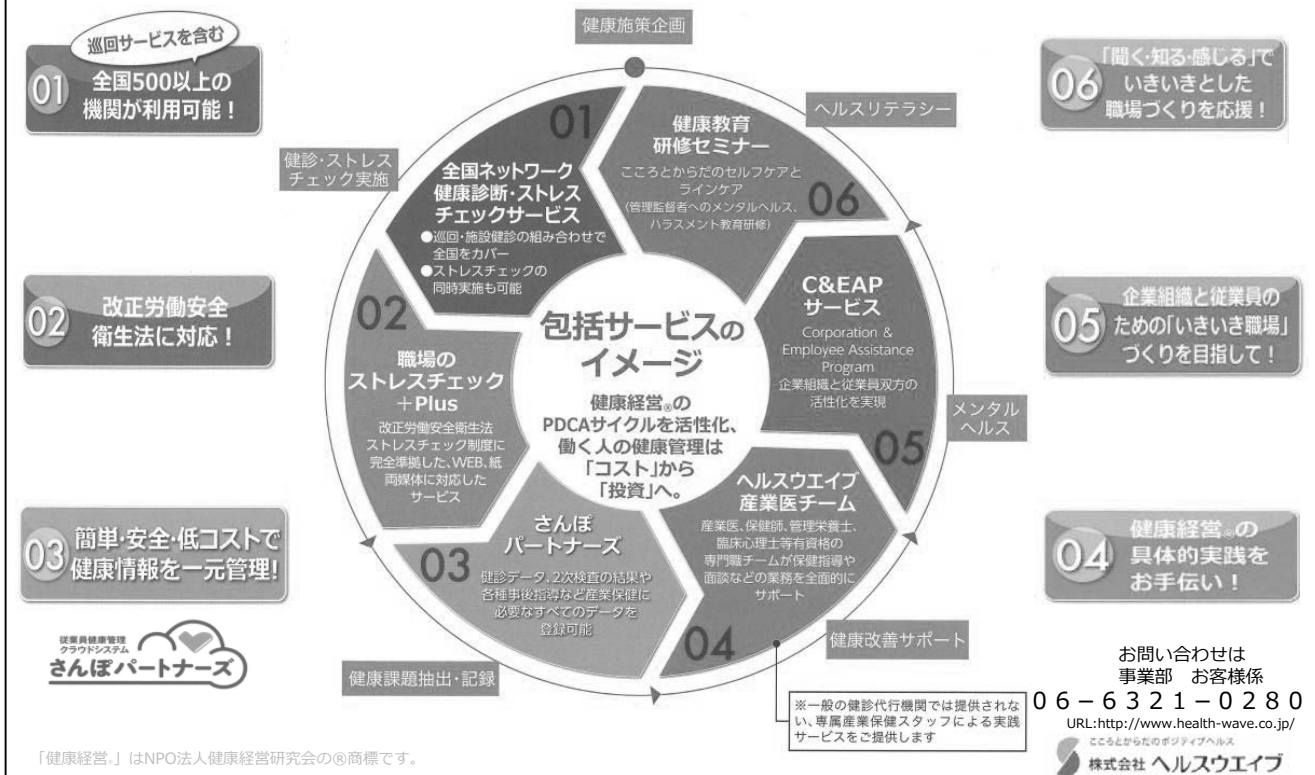
山梨市牧丘町倉科7190番地

TEL: 0553-35-4422 FAX: 0553-35-4428

お問い合わせ: info@fufuyamanashi.jp

<http://fufuyamanashi.jp/>

ヘルスウェイブは 「健康経営®」を応援します。



親友会グループ 烏丸ハイメディックコート2F (〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町652)

「いきいき職場」づくりを支援します

1次予防～3次予防までをワンストップで提供

こころの健康増進や発症予防(1次予防)、早期発見・治療、各種相談(2次予防)から復職支援、再発予防(3次予防)に至るまでワンストップでのサービス提供を実現いたします。

産業精神科医が統括

EAP・メンタルクリニック・リワーク施設が「三位一体」となったサービスを産業精神保健に精通した精神科医が中心となって企画・運営することにより、上質な職場メンタルヘルスのサービスを提供します。



アクセスが容易

京都の中心部(四条烏丸)に位置しており、サービスのご利用にあたって利便性が高い施設となっております。

産学連携

大学との連携により、臨床と学術活動で得られた職場メンタルヘルスの研究成果をサービスに還元し、実践を通して社会貢献いたします。

株式会社ヘルスウェイブ

京都産業メンタルヘルスセンター

Tel 075-255-7175 / FAX 075-256-8401

<http://www.health-wave.co.jp/eap-kyoto>



医療法人あけぼの会

からすまメンタルクリニック

働く方の「こころの健康」をサポートします

精神科
心療内科

当院は産業メンタルヘルスに特化したクリニックです。休業・休職中の方のための復職支援プログラムに力を入れております。充実したサポート体制でスムーズな復職復帰を目指します。

《完全予約制》 TEL 075-256-2151

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
10:00～13:00	○	○	○	○	○	○	—
16:00～19:00	○	○	○	○	○	—	—

リワーク からすま

復職支援
ショートケア

■電話受付時間

(月～金) 10:00～19:00 (土) 10:00～13:00

《お問い合わせ》 TEL 075-255-7176

<http://www.karasuma.mc-net>

●よりよいチーム、事業所になるための体験学習

対人援助職リーダーのための 人間関係づくりワーク チームマネジメントをめざして

鯖戸善弘 著

B5判・176頁 本体 2,200円＋税

多忙な事業所でも実施しやすい17のワークを紹介。
スタッフとの接し方や人材不足に悩むリーダーのため
の必携書。



●ラボラトリー方式の体験学習で人間関係づくりをする コミュニケーションと人間関係づくりのための グループ体験学習ワーク

鯖戸善弘 著

B5判・236頁 本体 2,500円＋税

体験学習をベースとしたコミュニケーションの構築、
良好な人間関係づくりのための理論とワーク（エク
ササイズ）を豊富に紹介。
学校や組織（職場）で活用できる。



●個人や企業・組織で活用できるワークブック

メンタルヘルス 実践ワーク

生産性と人間性を織り成す企業づくり

畔柳 修 著

B5判・166頁 本体 2,500円＋税

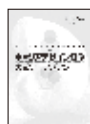


●企業・組織においてのメンタルヘルスにTAを活かす

メンタルヘルスに活かす TA実践ワーク

畔柳 修 著

B5判・236頁 本体 3,000円＋税



●研修の実践を紹介しながらキャリアを創造するヒントを提供

キャリアデザイン研修 実践ワークブック

若手・中堅社員の成長のために

畔柳 修 著

B5判・128頁 本体 2,500円＋税



●15のワークで「キャリア」を考えるための礎をつくる

キャリア・コンストラクション ワークブック

不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学

安達智子・下村英雄 編著 B5判・160頁 本体 1,800円＋税



●1人ひとりを大切にする社会の創造をめざして

実践 人間関係づくり ファシリテーション

日本体験学習研究所 監修 津村俊充・星野欣生 編

B5判・192頁 本体 2,300円＋税



●働く人が抱える職場や家庭の問題を理解し、援助するために

産業カウンセリング辞典

日本産業カウンセリング学会 監修 松原達哉 他編集

A5判函入・512頁 本体 6,000円＋税

〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7

K 金子書房

☎03(3941)0111(代) FAX03(3941)0163
URL <http://www.kanekoshobo.co.jp>

実践家のためのナラティブ/ 社会構成主義キャリア・カウンセリング

クライアントとともに〈望ましい状況〉を構築する技法

渡部昌平 編著

A 5判／並製／232頁 ◎定価（本体 3,000円＋税）

社会構成主義 キャリア・カウンセリングの理論と実践

ナラティブ、質的アセスメントの活用

渡部昌平 編著

A 5判／上製／256頁 ◎定価（本体 3,200円＋税）

サビカス キャリア・カウンセリング理論

〈自己構成〉によるライフデザインアプローチ

マーク・L・サビカス 著

日本キャリア開発研究センター 監訳

A 5判／上製／224頁 ◎定価（本体 2,800円＋税）

キャリア開発と統合的ライフ・プランニング

不確実な今を生きる6つの重要課題

サニー・S・ハンセン 著

平木典子、今野能志、平 和俊、横山哲夫 監訳

A 5判／上製／460頁 ◎定価（本体 5,000円＋税）

現代社会と応用心理学 4

クローズアップ「メンタルヘルス・安全」

日本応用心理学会 企画

森下高治、蓮花一己、向井希宏 編

A 5判／並製／272頁 ◎定価（本体 2,400円＋税）

認知分析療法(CAT)による 自己変革のためのマインドフルネス

あなたはなぜ「わな」や「ジレンマ」にはまってしまうのか？

エリザベス・W・マコーミック 著

古川 聡 訳

A 5判／並製／430頁 ◎定価（本体 4,500円＋税）

変容する臨床家

現代アメリカを代表するセラピスト16人が語る心理療法統合へのアプローチ

マービン・R・ゴールドフリード 編

岩壁 茂、平木典子、福島哲夫、野末武義、中釜洋子 監訳

A 5判／上製／420頁 ◎定価（本体 5,000円＋税）

これからの対人援助を考える 暮らしの中の心理臨床

① う つ

野村俊明、青木紀久代、堀越 勝 監修

野村俊明、青木紀久代 編

A 5判／並製／176頁 ◎定価（本体 2,000円＋税）

これからの対人援助を考える 暮らしの中の心理臨床

② パーソナリティ障害

野村俊明、青木紀久代、堀越 勝 監修

林 直樹、松本俊彦、野村俊明 編

A 5判／並製／240頁 ◎定価（本体 2,000円＋税）

これからの対人援助を考える 暮らしの中の心理臨床

③ トラウマ

野村俊明、青木紀久代、堀越 勝 監修

藤森和美、青木紀久代 編

A 5判／並製／184頁 ◎定価（本体 2,000円＋税）



福村出版

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-14-11

TEL 03-5812-9702 FAX 03-5812-9705 <http://www.fukumura.co.jp>

キャリア開発の産業組織・心理学ワークブック〔第2版〕

石橋里美 著

社会人として必要な知識をワークを取り入れながら解説。 2500円

産業・組織心理学

エッセンシャルズ(改訂三版)

田中堅一郎 編

経済状況や時代の変化に対応した、現代社会を生き抜くための組織と個人の心理学、ロングセラー。 2800円

産業心理臨床実践

個(人)と職場・組織を支援する

金井篤子 編

働く人々の心の問題にどう対応するか。理論的背景と基礎知識、実践内容も豊富に体系的に解説。 3100円

キャリアカウンセリング実践

24の相談事例から学ぶ

渡辺三枝子 編著

カウンセリングの前提、プロセス、仮説、方針、その後の対応を、相談事例に沿って解説。 2400円

働く人たちのメンタルヘルス対策と実務

森下高治・本岡寛子・枚田香 編

人事・労務担当者から産業保健スタッフや臨床心理士まで幅広く使える、実践的な手引き。 2400円

コーチング心理学概論

西垣悦代・堀正・原口佳典 編著

ビジネス、キャリア、医療など幅広い領域で注目されるコーチング。その対人支援のコーチング心理学の歴史や理論、実践を解説する。 2800円

ファシリテーター行動指南書

意味ある場づくりのために

中野民夫 監修／三田地真実 著

ファシリテーターとして、会議やワークショップ、教育現場などで成果をあげる極意とは。 2000円

経営組織心理学

若林 満 監修

松原敏浩・渡辺直登・城戸康彰 編
効率と人間尊重を統合するための基礎知識を、個人・集団・経営システム・環境適応領域から解説。 3200円

産業心理臨床入門

CPI研究会・島田修・中尾忍・森下高治 編

職場でのメンタルヘルスの理論と実践について、産業場面の第一線で活躍する臨床心理士たちがわかりやすく解説。 2800円

キャリアカウンセリング再考

実践に役立つQ&A

渡辺三枝子 編

キャリアカウンセリングの現場で直面する50の課題や疑問を取り上げ、基礎をかためる。 2400円

キャリアデザイン支援ハンドブック

日本キャリアデザイン学会 監修

教育機関・企業組織・行政がともに支援に参画するための現状分析と、理論・実践を示す。 3000円

「壁」と「溝」を越える

コミュニケーション

創造的な企画が実現しないのはなぜか。壁や溝をつくってしまう心の転換を図るための組織心理学。 2400円

日本産業カウンセリング学会 第22回大会

- 大会委員長 古田克利
- 大会事務局 藤井由香里
- 大会実行委員 浅野衣子、佐藤智子、谷井正佳、松本桂樹、吉川雅也 (五十音順／敬称略)
- 印刷・製本 有限会社 印刷工房

一般社団法人日本産業カウンセリング学会 第22回大会 事務局

〒162-0822

東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1020

TEL・FAX 03-5228-4418

E-mail taikai@jaic.jp